

春がやってきた



3月27日
花が目立つようになってきました。



3月31日
ほぼ満開になりました。

今年の3月は、世羅町でも月平均気温が観測史上最高で、いつもは4月になってから咲く桜が、3月24日には開花し、3月後半には満開となりました。そして1週間後には葉桜となり、桜の季節は駆け足で過ぎ去っていきました。



菜の花にやってきたミツバチ。



ナミアゲハ。



オオセンチコガネ。

3月の初めには、アカタテハやムラサキシジミなど成虫のまま越冬をする蝶たち、畑に菜の花が咲き始めると、ミツバチや、モンシロチョウ、ナミアゲハ、ハナムグリなどを見かけるようになりました。足元には、きらきらと輝くオオセンチコガネも動き始めていました。



巣箱をのぞきにきた、シジュウカラとヤマガラ。



巣材をくわえたシジュウカラ。



巣箱の中に持ち込んでいます。

2月ごろ、シジュウカラとヤマガラが交互にやってきて巣箱を覗いていましたが、どちらが巣箱を使うのか決着がついたらしく、3月後半からシジュウカラが巣材を運んでくるようになりました。

4月になると、アマガエルやトノサマガエルが畑の中を飛び跳ねるようになってきました。

アマガエルは、周囲の環境や体の状態によって体表の色を変えることができるそうで、茶色や緑色、まだら模様など、いろいろな模様の個体を見ることができます。



灰色の地に、まだら模様のある、アマガエル。



ロケットの葉の上で、じっとしていたきれいな緑色のアマガエル。